

# 谷川岳

**【コースのご案内】上毛高原駅 [ 8 . 0 0 集合 ]**  
 上毛高原駅 ( 8 . 0 8 ) - - 関越バス ( ¥ 1 , 2 5 0 . )  
 - - ( 8 . 5 3 ) 谷川岳・ロープウェイ駅 - - 天神平  
 ( 9 . 1 5 ) - - 熊穴沢避難小屋 ( 1 0 . 3 0 ) - -  
 ( 1 2 . 3 0 ) トマの耳・昼食 ( 希望者はオキノ耳往復 )  
 ( 1 3 . 3 0 ) - - ( 1 5 . 3 0 ) 天神平 - - ( 1 5 .  
 5 0 ) ロープウェイ駅 ( 1 6 . 0 0 ) - - 関越バス - -  
 ( 1 6 . 5 0 ) 上毛高原駅 ( 1 7 . 0 8 ) - - MAXた  
 ながわ 4 5 0 - - ( 1 8 . 4 8 ) 東京

当日現地ご連絡先：



## 谷川岳

【コースの概略】  
 天神平からのトラバース道は木道の敷いてある部分が多く、濡れていると滑りやすいので注意が必要で、トラバースが終わり尾根筋道と合流し尾根伝いに進むとオレンジ色の屋根の「熊穴沢」頭避難小屋に出る、この先は多少勾配がきつくなりまもなく展望が開けます。樹林帯を出ると右手には西黒沢の向こうに岩場登り登山者の見える西黒沢尾根が手に取る様に見え、

左手には特異な形状の「姐くら山稜」と切れ落ちた幕岩の大岩壁が見えます。山頂への道は登山者の多さを物語る様に、笹の根もちぎれ表土も流出して岩が露出して居る場所も多く、一部鎖場も有りますがこのコースには危険な箇所は有りません。やがて、西黒沢上部の笹原が右手に見えてきて、合流すると肩の広場に着きます、此処は道が縦横に広がり、ガスると迷いやすく下山時には注意が

谷川岳は、トマの耳、オキノ耳と呼ばれる二つのピークを持つツインピーク(双耳峰)で、上牧の付近からはこの「耳二つ」がよく見えます、また、名前の由来は、利根川の支流の谷川から来たもので、最高峰では無いのに連峰の代表にされて居るのは、一の倉沢に代表される日本の三大岩場と同等の遭難の多発が原因の様です、本来谷川岳は晴れやすい山ですが、今回はそれを確認しましょう

【谷川岳】  
 群馬と新潟の県境、上越国境は東は尾瀬から始まり、奥利根の山稜を経て、朝日岳付近から三国峠までの谷川連峰、そして西端の白砂山に繋がって居ります。でも、単に上越の山と云うと谷川連峰を指す様です、また此の地域には国境の山以外にも、苗場山、武尊山、などの素晴らしい山が多く、2000Mクラスでそれほど高くは有りませんが、花と草原、岩壁と変化に富んだ山域です。

必要です、山頂小屋から右手に緩やかな登りでトマの耳、その先一度少し下がって登り直してトマの耳です。

**【集合交通メモ】**  
 秦野 ( 5 . 0 5 ) - - 相模大野 ( 5 . 4 0 ) - - 下北沢 ( 6 . 0 8 ) - - ( 6 . 1 5 ) 新宿  
 ( 6 . 2 5 ) - - 埼京線通勤快速 ( 川越行 ) - - ( 6 . 5 4 ) 大宮 ( 7 . 0 6 ) - - とき  
 3 0 3 - - ( 8 . 0 0 ) 上毛高原駅 ¥ 6 , 0 0 0 .  
 千葉 ( 5 . 5 3 ) - - 市川 ( 5 . 5 6 ) - - 総武線快速 - - ( 6 . 1 4 ) 東京 ( 6 . 4 0 )  
 - - とき 3 0 3 - - ( 8 . 0 0 ) 上毛高原駅 ¥ 5 , 9 7 0 .  
 小田原 ( 4 . 5 7 ) - - 茅ヶ崎 ( 5 . 2 3 ) - - 6 . 2 1 ) 東京 ( 6 . 4 0 ) - - とき 3 0  
 3 - - ( 8 . 0 0 ) 上毛高原駅 ¥ 6 , 6 0 0 .



